

表 20 「高齢者看護実践論1」の内容

日程	講師	講義
1 日目	高道 香織	高齢者の転倒予防
	近藤 和泉	高齢者に対するリハビリテーション医療と Frailty
	遠藤 英俊	認知症・身体拘束禁止
2 日目	新美 千佳	脳卒中リハビリテーション看護
	高道 香織	事例検討
	丸岡 直子	転倒防止とリスク感性

表 21 「高齢者看護実践論1」の時間割

時限	講義時間	1 日目	2 日目
		10 月 29 日 (火)	10 月 30 日 (水)
1	9:00～10:30	オリエンテーション 10:00～10:20	新美(90) 脳卒中リハビリテーション看護
2	10:30～12:00	高道(90) 高齢者の転倒予防	高道(90) 事例検討
3	13:00～14:30	近藤(90) リハビリテーション医療と Frailty	丸岡(90) 転倒防止とリスク感性
4	14:40～16:10	遠藤(90) 認知症・身体拘束禁止	アンケート・修了式 14:30～15:30
予備	16:20～17:15	アンケート	

表 22 「高齢者看護実践論2」の内容

日程	講師	講義
1 日目	前川 裕子	高齢者の感染症と予防
	横山 剛志	排泄障害とケア
	磯貝 善蔵	皮膚・褥瘡
2 日目	伊藤 史朗	口から食べることの重要性
	鈴木 葉子	認知症高齢者の摂食嚥下障害への対応
	伊藤・鈴木	事例検討
	桑田 美代子	高齢者施設における看護

表 23 「高齢者看護実践論2」の時間割

時限	講義時間	1 日目	2 日目
		11 月 6 日 (水)	11 月 7 日 (木)
1	9:00～10:30	オリエンテーション 10:00～10:20	伊藤・鈴木(葉)(100) 口から食べるということ 認知症高齢者の摂食嚥下障害
2	10:30～12:00	前川(90) 高齢者の感染症と予防	伊藤・鈴木(葉)・高道(80) 事例検討
3	13:00～14:30	横山(90) 排泄障害とケア	桑田(90) 高齢者施設における看護
4	14:40～16:10	磯貝(90) 皮膚・褥瘡	アンケート・修了式 14:30～15:30
予備	16:20～17:15	アンケート	

6. 受講者の評価

1) 講義アンケートについて

各講座の開講期間中、毎日受講者全員に講義アンケートを配布し、今後の研修企画や運営に活用する趣旨を伝え、アンケートに答えてもらった。アンケートは 5 段階評定の設問と自由記載の設問で構成した(表 24、表 25)。

表 24 講義アンケートの内容(講義ごと)

アンケート内容	設問
5段階評定 6項目 5...大変そう思う 4...ややそう思う 3...普通 2...あまりそう思わない 1...全くそう思わない	Q1. 講義の内容はわかりやすかったですか Q2. 講義の内容は実践で役に立つ内容でしたか Q3. 講義の内容に関心・興味がもてましたか Q4. 多職種連携する上で役に立つ内容でしたか Q5. 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか Q6. 講義で紹介された事例は適切でしたか
自由記載 4項目	Q7. 講義の内容で良かったことを教えてください Q8. 講義の内容で難しいと思ったことについて教えてください Q9. 講義の感想・ご意見など自由にご記入ください。 Q10. 本研修を受講しようと思った動機についてお教えてください(※研修初日のみ) Q11. 本日全体のご意見・ご感想をお聞かせください(※研修初日・2日目のみ)

表 25 講義アンケートの内容(研修最終日)

アンケート内容	設問
5段階評定 5項目 5...大変そう思う/大変満足である 4...ややそう思う/やや満足である 3...普通/普通 2...あまりそう思わない/あまり満足でない 1...全くそう思わない/全く満足でない	Q1. 学ぶ環境は適切に整っていましたか Q2. 研修全体の満足度について教えてください Q3. テキストの満足度について教えてください Q4. Q&Aは講義の理解に役に立ちましたか Q5. 3日間(2日間)の研修での学びは、今後の実践で活用できますか
自由記載 1項目	Q6. 本研修に対する感想・ご意見を自由にご記入ください

2) アンケート結果 本研修の受講動機

各講座への受講動機について以下の表に示す(表 26)。

表 26 各講座への受講動機

講座名	志望動機
高齢者の医療 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環器内科病棟で患者様の殆どが 75 歳以上の高齢ですが、老年期についての正しい知識がないと感じていたため。基本を勉強しなおしたかったため。 ・ 当病棟では認知症の高齢者が多く、自分の知識向上と病棟スタッフの知識向上を測るため ・ 看護業務に携わり 35 年間急性期病院に勤務していました。手術室での勤務でしたので高齢者との関わりもほんのわずかな時間でした。4 ヶ月前より高齢者医療の病院で勤務する事になり、今回高齢者医療の知識をしっかり身に付けるために受講しました。病院側からのすすめもありました。 ・ 私の勤務している病棟が、泌尿器・呼吸器ということで高齢者が多いため。 ・ 働く病棟が高齢者の認知症患者様が多く入院されている。高齢者に表れやすい症状や健康問題についてまなび患者様の QOL の向上につながるような看護を提供していきたいと考えた為 ・ 病棟で高齢者医療の看護をするにあたり、老年期の理解を深められるよう上司のすすめもあり受講のきっかけとなりました。 ・ 精神科病棟に勤務しているが、超高齢化がすすみ、認知症患者も増加してきているので、基本から学びたいと思ったため。 ・ 上司のすすめ ・ 老年看護に興味があった ・ 入院患者さんに高齢の方が多く、今後老年看護をさらにべんきょうしようと考えており、この研修が数日開催で受けやすかったため。 ・ 病院の勤務+家庭 キャリア UP しようとしてもなかなかむずかしく今回単発で研修がえられる事もあり、受講しました。

	<ul style="list-style-type: none"> 自分のキャリアをのびたい。きちんと資格などのキャリアをつみたい。でも、いずれは、若い後輩をそだてる材料にする。自分が年とった時にこんな看護婦さんにお世話してもらえたらと思う様な人材をスタッフと一緒に育てたい。家族の中に病人がでて、その結果自分のDNAがONになった気がします。 高齢者の新しい知見を勉強し、現場で生かす為 エンドオブライフケアに関心があり、ケアできるようになりたいので受講した。 職場の医師に勧められて 上司にすすめられて
高齢者の医療 2	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の方を対象とする病棟で働いているため、高齢者医療についてもっと知識を深めたいと思った。 高齢者の多い病棟なので、知識向上を図ろうと思った。 入院患者に高齢者が増えており、高齢者特有の経過をたどるが理解できないことも多々ある。疾患の経過や治療について知り包括的に患者をみられるようになりたいと考えた。 高齢者、認知症について専門的な知識を学び、職場で還元するため 高齢者医療1を受講したNo3です。高齢者について知識を深めたく参加しました。 高齢者施設で勤務しており高齢者について再学習するのを感じたため 慢性期高齢者医療にたずさわり、新しい知識を入れたいと思った。 高齢者の多い病棟であり、研修1に続き今日も研修を受講させて頂きました。前回と今回の研修にて高齢者のいりようについて総合的に学びたいと思います 「高齢者の医療1」を受講した為、引き続き受けようと思った為。 高齢者看護を学ぶ一つの足がかりとして 高齢者化社会にむけて高齢者や高齢者医療というものを統合的にまなぶ 高齢者看護を実践していきたいので、臨床にそった新しいケアを学びたいと思ったからです。 上司にすすめられたため
高齢者の在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> 現在、内科(循環器、呼吸器)にて働いて、高齢者と関わることが多く、在宅に帰る方に支援するために入院中にできることを学べるかな?と思いましたので参加しました。今後、訪問看護に係われたら良いな、と思いました。 高齢者看護の知識を深めるため 当院に入院する患者も高齢者が多く、また認知症の方も多いため、退院支援が必要となる場合が多い。病棟看護師としてスムーズにより良い退院支援をすることが出来たらと思い受講を希望しました。 昨年より病棟内にて退院支援について関わっているため、この研修を受講しようと思いました。また、高齢者医療1・2に続き受講希望しました。 将来は在宅看護の仕事をしたいと思っていて、そのために在宅医療の現状やシステムについて学びたかったから。 高齢者の在宅医療に興味があったから 訪問看護に携わって3年くらいになりますが、全てにおいて(処置、事務的な処理、物品の受け渡し等々)根拠なく慣習的に引き継がれており、きちんと勉強したかったことと、当院以外での情報が知れたかったためです。 次年度より訪問看護ステーションの勤務を考えており、在宅医療の現状や課題を知識として身につけたかったため。また退院支援活動に生かすため。 病棟看護師として働き、退院支援にも関わっていますが、退院後の患者さんの生活や様子についてとても気になっています。元気に外来通院していることを知ると嬉しいですが、そうでないことを聞いた聞いたとき、もっと自分にできることがなかったかいつも思っていたこと。をれと自分自身が看護師を志した原点が在宅医療をしたかったからです。 退院調整看護師となったため 老々介護が多く入院すると退院できない、子供たちは遠くにいてみれないケースばかりで施設も空き待ち状態、帰りたいのに帰れない、入院している内に認知になってしまう。このジレンマ(医療者として)が何とかならないのか疑問がどの程度の助けになるのかどんなことをすれば自宅退院できるのか学びたいと思いました。 現在、急性期の市民病院(三次救急)の神経内科所属しています。ADL 全介助の方がほとんどで在宅の受け入れがほとんどありません。しかし家に帰りたい、家に連れて帰りたいという思いはあるようで、家族の不安を軽減し家族が在宅にふみ切れるよう援助したいと思い学習しようと思いました。 4月から訪問看護を始め、まだまだ分からないことだらけのため、受講しました。 現在の施設や、在宅医療に対する体制づくりを行うため、在宅医療について学ぶため 上司にすすめられたため。退院調整等に興味を持ったため 数年前より、高齢者施設や在宅医療に関わる仕事をしており、自分の知識を広げたいと思ったので上司からすすめられました。また、職場でここ1~2年退院支援に力を入れるようになっていますが、私自身はまだ理解・経験不足であるため勉強した方がよいと思いました。 退院支援の知識を学習し役立てたいと思ったから 外来と病棟での連携がもう少しできたらと思い、病棟のことを知ったほうが良いと思ったから

<p>認知症高齢者の看護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、認知症棟で働き、もっと理解したいと考え看護師になりました。今も神経内科病棟で(介護職)認知症の患者様が多く、ケアや看護に悩むことがあります、より良く認知症を理解し、患者様が安心できるケアへの知識を深めたいと思い受講しました。 ・ ①師長のアドバイスによるため ・ ②認知症について知識を増やしたかった" ・ 認知症治療病棟に携わっており、知識の習得が必要と感じた為です。 ・ 高齢者医療についての知識を深めるため ・ 病棟の中で認知症の方と関わるが増えてきているにもかかわらず、基本的な部分がわかっていないと思い学習したいと思ったから。 ・ 救命救急病床を担当しているが、認知症をもつ患者が急性期で症例が増悪するケースが多い。認知症の基本をおさえ、対応に活かしていきたいと感じたから。 ・ 認知症看護を学ぶため ・ 認知症医療センターであり患者が多くいる。自分にやるべきこと、指導していくための方法を学びたかった ・ 現在、認知症疾患病棟で勤務しています。日常、業務に流されてしまい、認知症ケアの専門性が失われてしまうこともあり、ジレンマとなります。認知症看護の研修を通し、今一度現場での看護を見直し、専門性を深めたいと思いました。 ・ 独居又は高齢者 2 人の生活の場合、自宅に帰れない状況が多くなってきた。入院中に日常生活活動に支障が強くなり退院できないことが多い。何かヒントを得たいと思いました。 ・ アルコール依存症の認知症の方が多くいる病棟に勤めているため ・ 認知症患者の対応について勉強をしたかったので ・ 急性期病院で受傷患者、ope 後の患者さん、そのような状況の中で認知症の患者さんも看護しなければならず、少しでも患者さんにとって良いと思われることを少しずつ実践してみたいと思ったから ・ 病棟でも認知症、高齢者患者の入院が増えており、接遇についてと知識を深めたいと思った為 ・ 知識を深める為 ・ 倫理について職場でどのようにしていくか考える為" ・ 高齢者が現在増えており、認知症患者がとも増加しており、その間さんをその人らしく過ごせるような対応を学びたかったので受講しました。 ・ 認知症看護 2 年目、同輩も慣れないことで看護している。自分を変えて看護がかわればと思っていました。 ・ 現在所属している脳外科病棟では認知症患者への困難事例が多くコミュニケーション方法や危険行動の対応方法を形態や知識を深めた上での対応方法を学び、実践に活かしていきたいと思いました。 ・ 認知症ユニットケアで生かそうと思ったから ・ 年々入院 Pt に認知症をもっている人が多く、今回のチャンスで認知症を学ぼうと思った ・ 認知症を持つ患者様との接し方にジレンマがある。自分自身も理解が十分でないから、他のスタッフへの呼びかけができないため。認知症看護に興味があるため。 ・ この先、認知症や高齢者ケアを自分の専門として極めていきたいと考えているため。 ・ 認知症の事を知りたかった為 ・ 他スタッフのかわりに上司から声をかけられ興味もあったため ・ 認知症のある患者さんが疾患を発症して、手術や検査の為に入院されるケースが多くなり、病棟内での対応する機会が増えてきた。自分達の対応が正しいのか否か基本的知識の不足も感じていたので自分自身の知識を深めたいと考えたため。退院調整、支援をしていく為にも必要だと考えた。 ・ 年に高齢者の方が増えるにつれ、認知症の方も増加しているため、日頃の看護に生かしていきたいと思ったため ・ 認知症の方が多くなっており、最新の情報や疾患について理解を深め、日々の看護関わりの中で生かしたいと思ったから ・ 認知症患者も多く、正しい看護、治療を知りたいと思ったため。上司にすすめられました。 ・ 病棟で師長に声をかけられ、実際認知症の患者さんも多く入院しているため興味を持った。 ・ 認知症看護にたずさわっているので、今後の自分の看護をより良いものになりたいと思った事と認知症看護がとても好きだからです。 ・ 循環器外科に勤めているが、高齢者の患者も多くあり術後のかかわり方について勉強したいと思いました。 ・ 4 月から老年病科に異動になったので、主疾患である認知症について勉強したいと思ったから。 ・ 認知症の方のケアで、看護ケアと介護ケアの違いを理解したい。根拠のある認知症看護を実践したいからです。 ・ 認知症ケアの正しい知識を得たいと思ったから。また、学ばせて頂いたことを日々のケアに生かしたいため。 ・ 認知症についてあまりにも知らなすぎるため、今後益々増加する高齢者への看護を充実させたくて申し出ました。 ・ 認知について知識があいまいな部分があり、この機会が学習したいと思い受講しました ・ 認知症患者が多い毎日、疾患、対応を勉強したくて希望しました。
------------------	--

<p>高齢者の EOL ケア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の終末期看護において(高齢者がその人らしく人生を終える時期)立ち会う看護師として求められる知識ケア(基本的な)学びたいと考えていたから。現場でも倫理的問題があり、少しでも解決したいから ・ 当病院でも、高齢者の EOL ケアについて、どのように看護していくか私たちの自己満足で終わっていないか日々検討しているところです。近年の動向や参考となるケアがあれば、業務に活かしていきたいと思い参加しました。 ・ 療養病床に勤務しており、高齢者の方の終末期を尊厳を守りながら本人・家族の意思を反映したケアを行うために研修を受講しようと思いました。 ・ 高齢者医療についての知識を深めるため ・ 自分の働く施設でも平均年齢84.5歳となり、現在健康であっても終末期のことを意識していく必要がある(スタッフ患者とも)また「自分の最期」についての決定権に医師の治療方針(最期に「治療」というのもおかしい)が多き8区関与していることにも疑問をもっているため(以下に患者の医師を生かせる働きかけができるかを考えていく一助としたい) ・ 当院(NHO 釜石)はリハビリ病棟が2等あり。患者様の平均年齢が80歳いじょうであり、今後の看護に必要と思い。参加しました。また、院内の看護業務委員会で「みどりの看護 家族とのかかわり」についてのDVD作成に取り組んでおり、終末期を知ることで役立てることが出来ると思いました。 ・ 高齢者の Pt が多く、高齢者にとつての良い看護とは何か、EOL とはについて学びを深めたいと思い、受講しようと思いました。 ・ 「ハッピーな胃ろう、アンハッピーな胃ろう」という本を読んで認知症終末期の胃ろうからの栄養のさしひかえや胃ろう増設を積極的に行わないで経口での可能性を考えたりなどの終末期医療に興味があったこと、また、自分の担当患者が少し前に在宅みどりで退院され、その後の経過にもふれることができ、かんがえるところがあった ・ 所属部署が障害者病棟であり、高齢さ y の入院が多く、終末期の患者と接する機会が多いが、患者・家族に対するケア、接し方で悩むことが多いため。 ・ 上司のすすめ 意思決定支援に興味があるため ・ 終末期をむかえるうえで、その人らしく生きられるような関わり、支援に関心があった。昨年の研修受講者の話を聞き、参加してみたいと思った。 ・ 高齢化が進む中で、病院では疾患を持つ患者さんのケアが多いが高齢者の EOL を改めて学びたいと思った ・ 当院での。若手医師が老年病科なのに90-100歳に対して治療を行い続けている弁上について疑問に思っているからです。他の科の方がよほど自然であったり緩和的なので。 ・ 本人が中心になっていない家族や Dr の決定による現状を腹立たしく思うことが多く、何か学び実践につなげることができないか考える機会になればと思い参加した ・ 食べられなくなってきた高齢者に対して、人工栄養をどうするか等のかかわりを院内で行っているが、手探り状態で迷いがあるため。学習したいと思った。 ・ 看護専門学校で専任教員をしていた際に老年看護学の領域を担当していた。臨床で高齢者の患者さんへの実践との隔たりを痛感、現状を突破する力を得るため原点に戻りたいと思った ・ 上司(Dr)にすすめられた ・ 働いている病棟で EOL ケアが求められているため ・ EOL について興味がありました ・ 自身が育ってきた状況からの変化に対応して、EOL 特に老人の EOL の考え方を再検討再構築すべきと思ったため ・ 院内老年看護認定看護師として活動しており、師長にすすめられ今後の活動にいかせる内容だと思った ・ 在宅でのお看取りを支える立場として、現在の終末期医療について課題なども含め学びたいと思ったので。 ・ 終末期医療を行う際、患者家族とのかかり、重篤で入院した際の対応など現場で困っている事も多いため、解決につなげられる様にとつい受講しました
<p>高齢者看護実践論 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が認知症の患者様が増え、看護師の対応の仕方で役に立つ事が学べればと思い参加しました。 ・ 高齢者に対する知識を深め病棟で活用するため ・ 昨年、転倒について看護研究を行い、業務改善につながったが、その対策に慣れが生じており、新たな視点や動機づけが必要と感じたため ・ 高齢者患者が増えており、転倒転落の件数も増えてきた。認知症があると身体拘束へはしりがち、又、拘束により身体機能低下…と悪循環となってしまう現状がある。リハビリと拘束禁止に興味をもって受講を希望した。 ・ 高齢者の転倒・転落が多くなってきており、当院でも高齢者が多いので転倒・転落予防について学びたいと思いました。 ・ 回復期病棟になったのですが、高齢者も多く、興味があったので参加しました。 ・ 回復期リハ病棟勤務し、院内の転倒・転落に関するリスクマネージャーとして多く関ることがあるため、知識を身につけて活かしていきたいと思いました。 ・ 普段、高齢者を看護していて対応が困難なあり、高齢者について知りたいと思ったため。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内の老人認定を行っており、転倒についての対策や考え方について学習し、病院での活動に活かそうと考えました。 ・ 現在、勤務している病棟が脳外科であり、麻痺や筋力低下し、高次脳機能障害により、転倒を起こしやすく、また、危険回避能力が低下している患者が多いため、転倒に関することや抑制について学びたいと思いました。 ・ 高齢者の特徴をふまえて、看護を実践したいと思ったから ・ 入院患者さまのほとんどが高齢で、一般病棟ですが、認知症をもった人や転倒を何度も繰り返す人もいるため再度学習して現場でいかせればと思いました。 ・ 院内での転倒のインシデントが多く、少しでも日々の看護に生かすことができればと思った ・ 障害者病棟に勤務している為、高齢者の方々が多く入院されており転倒のインシデントも多くあるので、対応、予防策を身につけたいと思ったから ・ 高齢者の看護に興味があります。高齢者は個人差があるので、いかに短期間で個別性を捉える事ができるようになるのかを学びたいと思っています。 ・ 昨年、EOL ケアに参加して、とても興味深くおもしろい内容だった。病棟で安全委員として、転倒や医療事故を減らす役割を担っているの、何かヒントを頂ければと思った。 ・ 認知症の患者が増えてきており、専門的なケアや知識を学んで実践できたらよいなと思ったため。 ・ 転倒転落の予防が重要であり、行きすぎると抑制しないと転倒して「骨折」に至ることもあり、対策やアセスメントを培うため。 ・ 昨年も受講しました。昨年の受講後に、学んだことを活かした看護をしようと思っていたのですが、やはり実際現場に持ち帰り行うことが難しく、学んだことも薄れてしまいました。再び知識を得たいのと、昨年と少し内容も異なる魅力があり、今度こそ現場に活かしたいので受講しました。 ・ 転倒・転落チームメンバーとして、日々、転落予防について活動しているが、現状、転倒件数の減少はなく、何がアセスメントをする際に不足しているかを学びたいと思った為。 ・ 高齢に根拠のある看護実践ができるようになりたいので参加しました。病棟で牽引役となれるよう、同僚、ナースを納得させられるよう知識、スキルを身につけたいと考えています。 ・ 当院医師の勧めです。(板橋の長寿医療センターの外来に出ているため資料をもらってきてくれました。) ・ 上司にすすめられました。パーキンソンなどの転倒しやすい患者も多いため参加しました。 ・ 脳外科病棟勤務ですが、最近特に高齢者や認知症の方の入院が多くなってきています。転倒・転落予防、危険予防といって身体拘束をやらざるを得ない状態が続いています。今回の研修内容をみて、とても興味のあるないようだったことと、知識を得ることで、不必要な身体拘束がなくせ多良と思いました。また高齢さやが苦痛なく入院生活を過ごせるようにケアができたらよいと思いました。 ・ 現在、身体障害者病棟で勤務しています。病棟の殆どが高齢者で、日々、転倒や身体拘束など対応しています。高齢者の看護の知識の見直しや更に深めることができればと思いました。この研修を紹介して下さったのは医師で、すすめてくれたこともあり、遠方ですが、勉強の機会に…と思って申し込みました。 ・ 脳神経外科師長として2年目、安全管理委員会の委員として4年目のため転倒・転落について学びたかったから。当院の今年度の看護部目標に高齢者看護をかかげているから。 ・ 高齢者への理解を深め、実践に活かしたいため
<p>高齢者看護実践論 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟で、認知症の患者や、感染症でのアウトブレイクも多かったため ・ 病院に高齢者が多く、特に感染症が多い為、感染対策など詳しく学びたかったから。高齢者への正しいケア、正しい知識を身につけたかった為。 ・ 高齢者の看護について知識を深め、病棟で活かしていくため ・ 平均年齢 80～100 歳の高齢者の多い病院に勤務していて、日々対応に困難な事がありインターネットで、分かりやすいパンフレットを目にし、この研修を知り高齢者看護について学びたいと思い、受講しました ・ 高齢者が多いため、看護に生かせる様、学びたいと思ったため。 ・ 自己のブラッシュアップのため ・ 高齢者の特徴を理解して、看護実践をしたかったから ・ 呼吸器で働いているため、この研修を通して実践レベルで何か役立つものがあればと思ったため。 ・ 総合内科に勤務しており、高齢者が多いため ・ 老年科に携わっているの、復習及び新しい学びを深めたかった。 ・ 講義内容に興味があった ・ 院内の感染対策委員であり、感染予防について学びたかったことと褥瘡や嚥下、排尿、排便など症例によっては悩むことも多く、今後の参考にしたいと思ったため ・ 前回の高齢者看護実践論1に引き続き参加。去年の学びの確認や復習。自分の看護の見直し、また、去年この講義を受講し嚥下摂食に興味をもったため ・ 上司にすすめられたため ・ 高齢者の看護を専門に根拠のある看護を行っていきたい。そのため、臓器別ではなく、全人的に患者をとらえられるよう、又、入院から終末期、在宅まで、様々な健康の段階を理解するために受講しました。 ・ 高齢の患者が多くいる中で、この研修は日々看護していくうえでとても重要で役立つ内容であり、学

	んで実践に活かしたいと思ったから。 ・ Dr.にすすめられた ・ 上司にすすめられましたが、自分も興味のある学習したいと思える項目があったため ・ 高齢者の多い病棟で働いています。今回の研修項目の内容が現在のケアで見直す事ができるのではないかと思います受講させて頂きました。 ・ 高齢者全体をどうみていけばよいか勉強したかったから ・ 高齢者においての感染による死亡も多いので対策等学びたいと思い参加しました
--	---

3) アンケートの結果 各講座

① 7講座全体

各講座とも、Q1から Q6 のすべての設問に対して平均4.0 以上を得ており、おおむね良い結果を得た(表 26・図 11)。「Q3 講義への内容に関する関心・興味」については7講座のうち5講座は、平均 4.5 を超える結果となり高い評価を得たと考える。「Q4 多職種連携する上で役に立つ内容」については、他の設問に比較すると 0.4 前後低い結果となった。

② 研修最終日のアンケート結果

各講座とも、最終日のアンケートでも平均 4.0 以上を得ており、おおむね、良い結果を得た(表 27・図 12)。「Q2 研修全体の満足度」は全講座で 4.5 以上を得ており、非常に良い結果を得たと考える。「Q5 研修の学びを今後の実践で活用できる」に対してもほとんどの講座で 4.5 以上の結果を得た。

表 26 7講座全体のアンケート結果

講義	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6
高齢者の医療1	4.62	4.52	4.69	4.23	4.56	4.55
高齢者の医療2	4.43	4.54	4.54	4.11	4.41	4.36
高齢者の在宅医療	4.30	4.31	4.45	4.27	4.03	4.26
認知症高齢者の看護	4.42	4.49	4.60	4.09	4.27	4.42
高齢者のエンドオブライフ・ケア	4.47	4.48	4.54	4.15	4.42	4.47
高齢者看護実践論1	4.32	4.36	4.46	4.09	4.22	4.34
高齢者看護実践論2	4.36	4.47	4.50	4.20	4.39	4.35

※講義全体のアンケート結果が 4.5 を超えたものにカラーでマーク

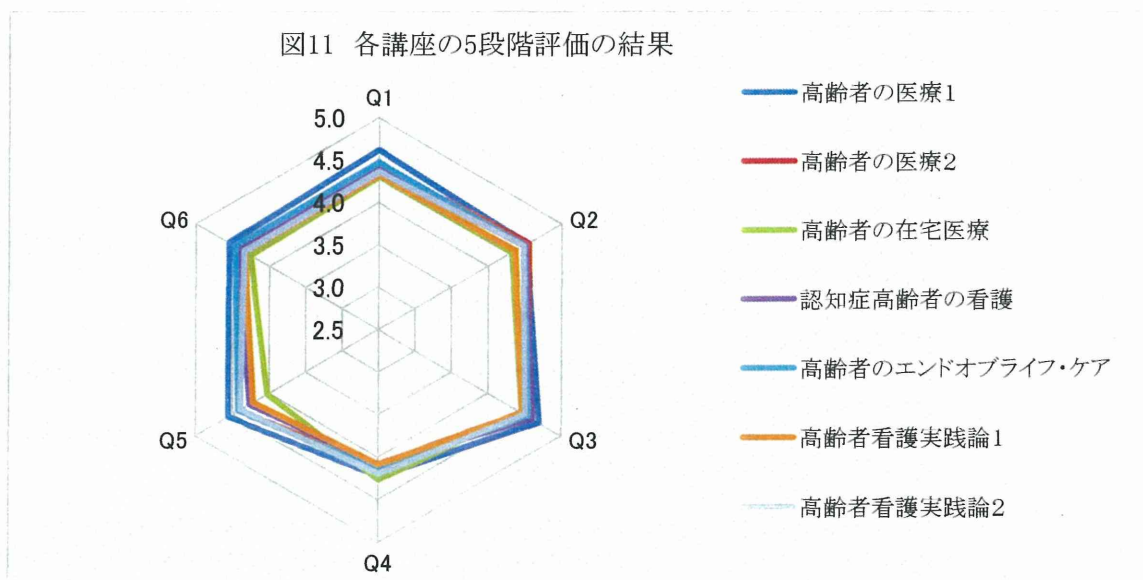
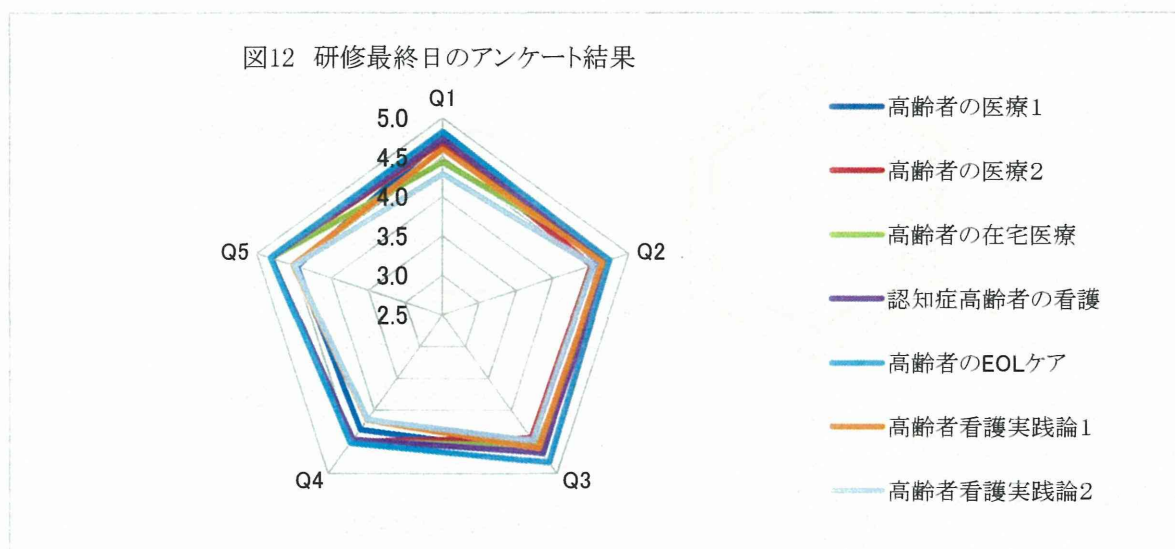


表 27 研修最終日のアンケート結果

講義	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6
高齢者の医療1	4.75	4.63	4.69	4.31	4.47	4.75
高齢者の医療2	4.69	4.50	4.44	4.50	4.81	4.69
高齢者の在宅医療	4.44	4.75	4.56	4.50	4.81	4.44
認知症高齢者の看護	4.73	4.70	4.67	4.47	4.82	4.73
高齢者のエンドオブライフ・ケア	4.83	4.74	4.83	4.52	4.83	4.83
高齢者看護実践論1	4.60	4.64	4.60	4.16	4.52	4.60
高齢者看護実践論2	4.29	4.52	4.48	4.15	4.50	4.29

※講義全体のアンケート結果が4.5を超えたものにカラーでマーク



③ 各講義の結果

各講義でも、受講者からはおおむねよい評価を得ている。

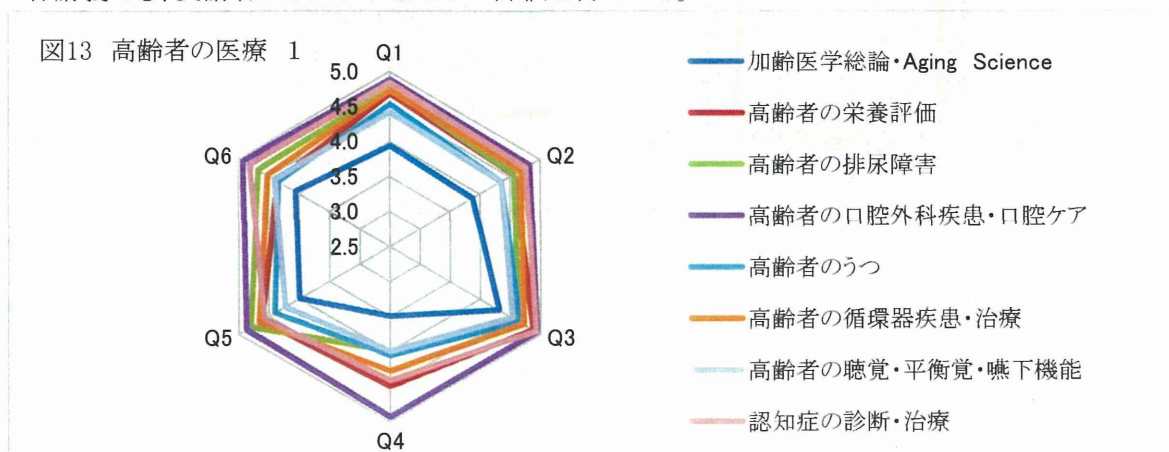


図14 高齢者の医療 2

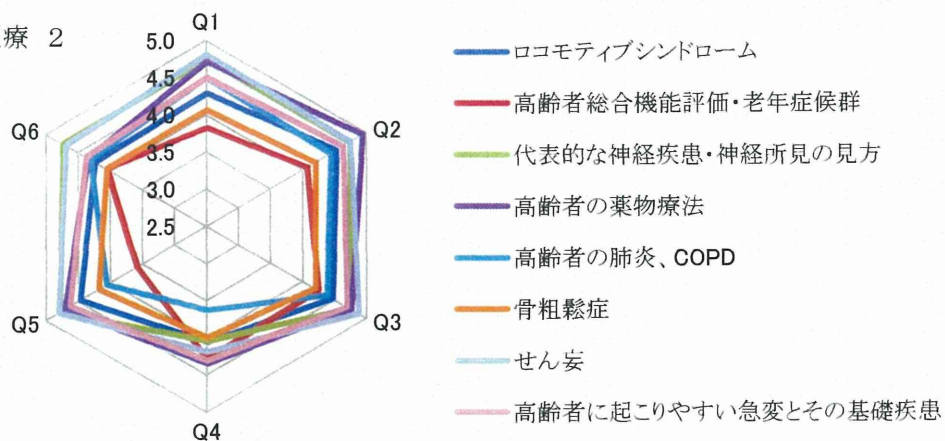


図15 高齢者の在宅医療

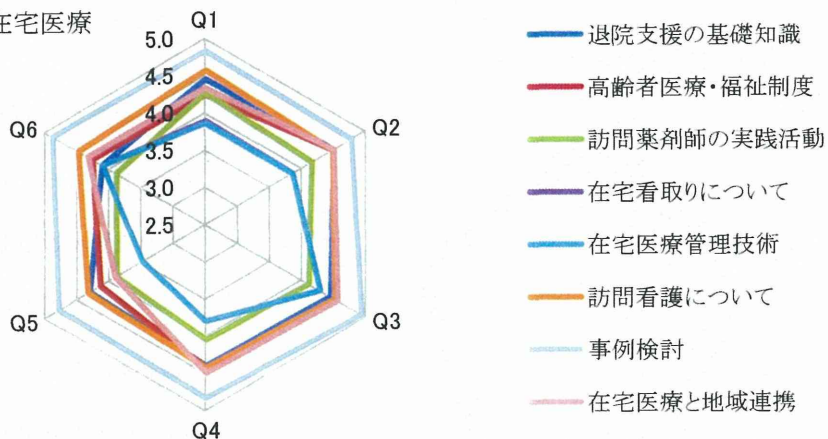


図16 認知症高齢者の看護

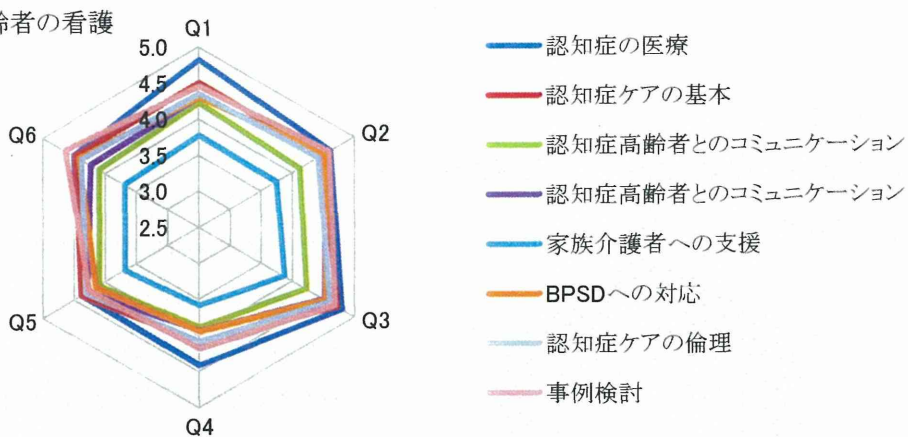


図17 高齢者のEOLケア

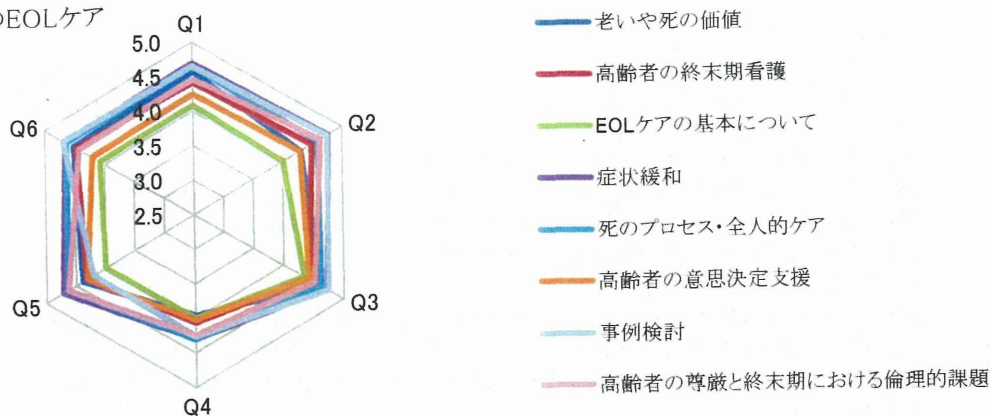


図18 高齢者看護実践論 1

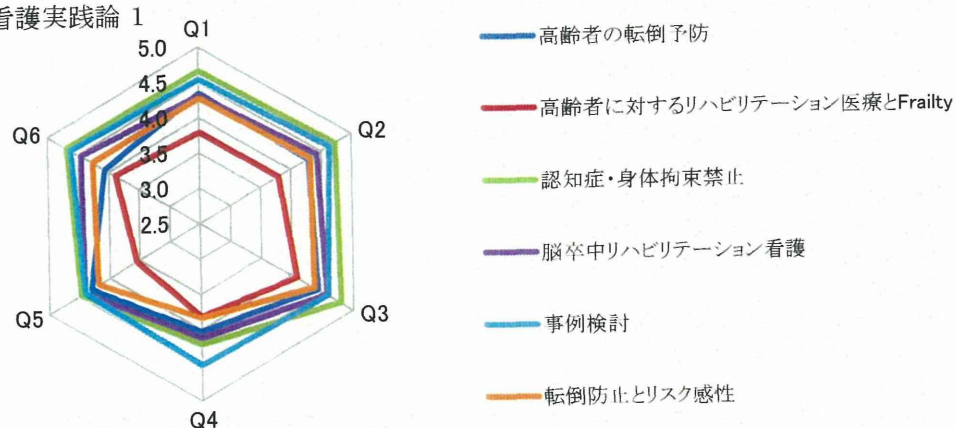


図19 高齢者看護実践論 2

